

国語A:主として知識

分類	区 分	平均正答率(%)		
		立野小	東京都	全国
内容別	話すこと・聞くこと	69.2	70.7	68.0
	書くこと	87.5	86.3	85.4
	読むこと	75.6	71.2	68.7
	言語事項	74.6	65.9	64.2
観点別	国語への関心・意欲・態度	69.2	70.7	68.0
	話す・聞く能力	69.2	70.7	68.0
	書く能力	87.5	86.3	85.4
	読む能力	75.6	71.2	68.7
	言語についての知識・理解・技能	74.6	65.9	64.2
全体平均正答率(%)		77.8	71.6	69.9

国語B:主として活用

分類	区 分	平均正答率(%)		
		立野小	東京都	全国
内容別	話すこと・聞くこと	69.2	63.2	61.3
	書くこと	28.8	18.8	14.5
	読むこと	75.6	60.8	56.5
	言語事項	69.9	62.0	59.7
観点別	国語への関心・意欲・態度	59.8	49.2	46.0
	話す・聞く能力	69.2	63.2	61.3
	書く能力	28.8	18.8	14.5
	読む能力	75.6	60.8	56.5
	言語についての知識・理解・技能	69.9	62.0	59.7
全体平均正答率(%)		63.1	53.6	50.5

《考察》

A問題では【話す・聞く】力に課題があることが分かります。調査問題では、司会の進め方のよいところを説明する設問でした。ペーパーテストなので実際に耳で聞いたり口頭で話す力を計ることはできませんが、【話す・聞く】力は国語の時間だけでなくすべての教科において重点的に指導していくことが大切だと考えています。【書く】力については、【言語事項】も含めて日頃のモジュールによる反復学習の効果が表れたものと考えられます。【読む】力もほぼ満足できる水準に達していると思われます。しかし、今後も【話す・聞く】指導と併せ表現力の向上をめざし、発表の場面を多く設定するなどして指導法の改善をしていく必要があります。

《考察》

B問題の【書く】については、報告文を読んで内容をメモにまとめたり、調べて分かったことを記述する問題でした。全国や東京都の平均を上回っているとはいえ、7割以上の児童が答えられなかった現状は改善する必要があります。授業では、自分の考えや分かったことを口頭で発表する場面は多く取り入れられていますが、それらを文章にしてノートにまとめる指導はあまり見られませんでした。今後、分かったことや自分の考えを筋道立てて簡潔に文章に表す力を伸ばす指導法を工夫するとともに、50字や80字以内といった制限字数に収めて記述させる方法も取り入れていくことも大切だと考えています。